

# 川 柳

千葉県指定文化財(史跡)

稲葉黙齋の墓(成東)

稲葉黙齋は、上総地域の農民に朱子学を指導した功績で知られています。

稲葉黙齋は、享保十七年(一七三二)に江戸日本橋に朱子学者稲葉迂齋の次男として生まれました。父(迂齋)の下で学んだ後、十六歳の時に、野田剛齋に入門し、二十歳頃には朱子学者に成長しました。代表著作に「孤松全稿」があり、元倡寺に所蔵されています。



稲葉黙齋の墓

## 喜寿祝い

津辺 相葉 和子

喜寿祝い世間皆様ありがとう  
幸運に感謝しながら喜寿祝う  
良く食べて良く寝働き喜寿になり  
引き継いだ父母のコピーで喜寿生きる  
親に成る我が子にやつと見る安堵  
アンパンもスリムでしのぐ物価高  
判かつた取るな作るな米騒動

## 菊薫る

木原 伊藤みや子

南國へ派遣の子の来て新酒汲む  
物価高何んの彼のと年金日  
ケアホーム智慧の芽生えを感じます  
長命の我に還るや菊薫る  
治療院まるで車の展示会  
ちとスマホ持て余しをり卒寿越え  
若いねと言はれ何かと遠慮がち

## 喜び

森 遠藤三千代

バースデイ幾つになってもいと嬉し  
九十五歳今日も元気に句会の日  
ゴールドと握るハンドル要注意  
平和の願い我も訪ねしひめゆりの塔  
子に還るホームの仲間かき氷  
医者通いいつもの人と今日もまた  
目いっぱいお洒落がいつか普段着に

## 「混沌」

本須賀 川島 隆

神の子の生れた国の戦好き  
三人も戦争好きの独裁者  
トランプに我慢の文字を教えられ  
印籠のごと関税を振りかざし  
逆らえばすぐ首にするトランプ流  
米高値どこかでだれか儲けてる  
飽食になれて令和の米騒動

よしなしごと

借毛本郷

栄

温暖化経験則は役立たず  
 備えても憂いは多し秋津洲  
 我が財布洪沢翁の顔知らず  
 足るを知るついつい忘れあめタボ  
 阿修羅王如きリーダーおちここに  
 秋風に着歴残し朋は逝き  
 散歩道声をかければ異国人

八十路

木原 鈴木とし子

二世帯で住む覚悟まだ出来てない  
 この歳で止めてどうする悪い癖  
 顔が出て名前出て来ず五分間  
 転倒は思いも寄らずやって来た  
 今の事じき忘れるは進化する  
 沁み着いた悪い癖程直らない  
 老いた今昔ケーキで今薬

とり急ぎ

本柏 竹之内幸子

クラス会苦勞の証足腰アカシに  
 まだあるか大事な物の隠し場所  
 食事終え丁度舟漕ぐ時間帯  
 最悪日信号赤にひっかかる  
 今日も無事ガラス戸越しに見る夕日  
 押入れのバブル残骸背負い投げ  
 大急ぎ見えるところだけプレスする

無題

津辺 神 蘭光

花見酒のんだつもりウーロン茶  
 四連休アレがないので只の日々  
 吐乱夫が吠えて世界は大困り  
 八十才傘寿になれず散寿かな  
 信号が変って出すのかウインカー  
 世継ぎなく先祖殺しの墓じまい  
 政治屋の無能無策で米騒動